

15 二次医療機関への転搬送状況

二次医療機関への転搬送患者数を前年度と比較すると、内科は121人減少、小児科は16人増加した。二次転搬送率で比較すると、内科は減少傾向にあるが、小児科は増加傾向にある。

図表 2-15-1 二次医療機関への転搬送状況

(単位：人)

		平成 29 年度			平成 30 年度			令和元年度			
		輪番 日数	患者数	1日当たり 患者数	輪番 日数	患者数	1日当たり 患者数	輪番 日数	患者数	1日当たり 患者数	
内 科	搬 送	国立病院機構千葉医療センター	48	14	0.29	48	15	0.31	48	19	0.40
		千葉市立青葉病院	198	119	0.60	198	143	0.72	201	120	0.60
		千葉市立海浜病院	52	56	1.08	52	71	1.37	52	60	1.15
		ジェイコー千葉病院	36	9	0.25	36	10	0.28	36	6	0.17
		千葉メディカルセンター	24	15	0.63	24	14	0.58	24	13	0.54
		井上記念病院	12	1	0.08	12	7	0.58	12	4	0.33
		柏戸病院	36	6	0.17	36	18	0.50	36	13	0.36
		斎藤労災病院	24	4	0.17	24	6	0.25	24	6	0.25
		千葉みなと病院	24	3	0.13	24	5	0.21	24	1	0.04
		稲毛病院	12	3	0.25	12	6	0.50	12	1	0.08
		泉中央病院	24	2	0.08	24	1	0.04	23	0	0.00
		千葉中央メディカルセンター	48	27	0.56	48	32	0.67	48	25	0.52
		平山病院	12	2	0.17	12	4	0.33	12	4	0.33
		山王病院	36	10	0.28	36	16	0.44	36	13	0.36
		三愛記念病院	48	12	0.25	48	10	0.21	47	9	0.19
		最成病院	48	17	0.35	48	15	0.31	48	12	0.25
		みつわ台総合病院	48	16	0.33	48	20	0.42	49	25	0.51
		合 計		316	0.86	393	1.08	331	0.90		
		転 送	365	255	0.70	365	259	0.71	366	200	0.55
	転搬送 合 計		571	1.56	652	1.79	531	1.45			
二次転搬送率		4.70%	5.46%	4.95%							
小 児 科	搬 送	千葉市立海浜病院	365	386	1.06	365	363	0.99	366	399	1.09
		合 計		386	1.06	363	0.99	399	1.09		
	転 送	365	47	0.13	365	53	0.15	366	33	0.90	
	転搬送合計		433	1.19	416	1.14	432	1.18			
	二次転搬送率		3.40%	3.94%	4.48%						
合 計	365	1,004	2.75	365	1,068	2.93	366	963	2.63		

※ 夜急診で入院・加療等が必要だと判断される患者については、二次医療機関に転搬送をしている。搬送と転送の違いは、夜急診の患者受け入れ先として登録されている二次医療機関で、当日当番となっている所に送ることを「搬送」と言い、それ以外の医療機関に送ることを「転送」と言う。

※ 二次転搬送率とは、来院患者数全体に占める、転搬送患者の割合（転搬送患者数÷来院患者数×100）

※ 小児科の二次医療機関が、国立病院機構千葉医療センター、千葉県こども病院、または東京女子医科大学八千代医療センターであるときは、海浜病院がバックアップをしている。（平成28年5月まで）

※ 平成28年6月より、小児科の二次医療機関の当番はすべて千葉市立海浜病院となる。

図表 2-15-2 内科の転送患者の内訳（令和元年度）

（単位：人）

医療機関名	転送数	医療機関名	転送数
千葉県救急医療センター	30	千葉市立海浜病院（婦人科）	4
千葉市立海浜病院（内科）	28	柏戸病院	2
みつわ台総合病院	21	千葉健生病院	2
千葉脳神経外科病院	19	山王病院	2
千葉市立青葉病院	17	千葉市立海浜病院（産科）	2
千葉中央メディカルセンター	16	稲毛病院	1
千葉市立海浜病院（外科）	16	井上記念病院	1
千葉大学医学部附属病院	10	三愛記念病院	1
千葉メディカルセンター	9	ジェイコー千葉病院	1
最成病院	7	順天堂大学医学部附属浦安病院	1
みはま病院	5	東京女子医科大学八千代医療センター	1
国立病院機構千葉医療センター	4	合 計	200

図表 2-15-3 小児科の転送患者の内訳（令和元年度）

（単位：人）

医療機関名	転送数	医療機関名	転送数
千葉大学医学部附属病院	24	みつわ台総合病院	1
千葉県こども病院	5	千葉市立海浜病院（外科）	1
梶田医院	1		
斎藤労災病院	1	合 計	33

図表 2-15-4 内科の転搬送における一次診断名（令和元年度）

（単位：人）

疾病名	患者数	疾病名	患者数	疾病名	患者数
虫垂炎	68	気管支喘息	5	智歯周囲炎	1
腹痛	64	婦人科疾患	4	下肢深部静脈血栓症	1
イレウス	54	尿閉	4	麻痺	1
肺炎	34	蜂窩織炎	3	歩行困難	1
脳血管障害	24	打撲・外傷	3	便秘症	1
胆のう・胆管炎	23	脱水症	3	閉塞性黄疸	1
消化管出血	20	大動脈瘤破裂・解離	3	腹腔内腫瘍	1
胃腸炎	20	胸膜炎	3	下肢の腫れ	1
尿路感染症	18	急性薬物中毒	3	下肢脱力感	1
不整脈	16	咽頭炎	3	敗血症	1
めまい	10	意識障害	3	妊娠	1
心不全	10	扁桃炎	2	腸重積	1
狭心症	9	貧血	2	上気道炎	1
気胸	9	頭部打撲・外傷	2	視野欠損	1
糖尿病	8	伝染性単核球症	2	喉頭蓋炎	1
心筋梗塞	8	てんかん・けいれん	2	急性心膜炎	1
憩室炎	8	鼠径ヘルニア	2	急性下半身麻痺	1
アナフィラキシー	8	頭痛	2	急性アルコール中毒	1
発熱	7	消化管穿孔	2	顔面神経麻痺	1
尿路結石	7	高血圧症	2	嘔気・嘔吐	1
膵炎	6	胸水貯留	2	インフルエンザ	1
蕁麻疹	6	肝機能障害	2		
胸・背部痛	5	胃・十二指腸潰瘍	2		
呼吸不全	5	アニサキス症	2	合計	531

図表 2-15-5 内科の転搬送における二次診断名（令和元年度）

（単位：人）

疾病名	患者数	疾病名	患者数	疾病名	患者数
虫垂炎	57	頭痛	3	骨盤内髄膜炎	1
胃腸炎	48	尿閉	3	十二指腸ヘルニア	1
イレウス	38	嘔気・嘔吐	2	上気道炎	1
肺炎	30	胸膜炎	2	自律神経失調症	1
胆のう・胆管炎	24	しびれ	2	性感染症	1
憩室炎	19	蕁麻疹	2	精神疾患	1
脳血管障害	16	前立腺肥大症	2	大動脈瘤破裂・解離	1
婦人科疾患	16	脱水症	2	突発性難聴	1
尿路感染症	15	胆石症	2	尿道損傷	1
腹痛	15	てんかん・けいれん	2	熱中症	1
心筋梗塞	14	伝染性単核球症	2	歯損傷	1
尿路結石	14	頭部外傷・打撲	2	発熱	1
不整脈	14	尿管結石	2	ヒステリー性運動失調症	1
心不全	12	妊娠	2	腹腔内腫瘍	1
めまい	12	肺化膿症	2	フルニエ壊疽	1
アナフィラキシー	11	敗血症	2	閉塞性黄疸	1
消化管出血	10	扁桃炎	2	臍ヘルニア嵌頓	1
気胸	9	伝染性単核球症	2	扁桃腺周囲腫瘍	1
糖尿病	7	アニサキス症	1	末梢神経マヒ	1
便秘症	7	アルコール依存	1	麻痺	1
気管支喘息	6	胃癌術後低栄養	1	下肢痛	1
消化管穿孔	6	一過性視野障害	1	迷走神経緊張症	1
狭心症	5	咽頭炎	1	腰痛症	1
蜂窩織炎	5	ウイルス感染症	1	リンパ節炎	1
インフルエンザ	4	ウイルス性肝炎	1	上行結腸癌	1
膝炎	4	下肢筋力低下	1	上腸間膜動脈解離	1
鼠径ヘルニア	4	顔面神経麻痺	1	水頭症	1
胸・背部痛	4	急性アルコール肝炎	1	智歯周囲炎	1
異常所見なし	3	急性アルコール中毒	1	腸壁癒痕ヘルニア	1
肝機能障害	3	急性心膜炎	1	肺小細胞癌、多発肝転移	1
気管支炎	3	胸水貯留	1	閉鎖孔ヘルニア嵌頓	1
急性薬物中毒	3	胸部外傷	1	盲係蹄症候群	1
高血圧症	3	下痢症	1	扁桃周囲膿瘍	1
呼吸不全	3	骨折	1	合計	531

図表 2-15-6 小児科の転搬送における一次診断名（令和元年度）

（単位：人）

疾病名	患者数	疾病名	患者数	疾病名	患者数
発熱	56	ボタン電池誤飲	4	顔面擦過傷	1
肺炎	31	裂創	4	亀頭包皮灸	1
気管支喘息	26	意識障害	3	頸部痛	1
胃腸炎	25	咽頭炎	3	血尿	1
気管支炎	21	細気管支炎	3	ケトン血性嘔吐症	1
てんかん・けいれん	21	蕁麻疹	3	咬傷	1
川崎病	13	髄膜炎	3	骨折	1
腹痛	13	脱臼	3	耳下腺炎	1
ウイルス感染症	11	打撲	3	食中毒	1
嘔気・嘔吐	11	一酸化炭素中毒	2	頭痛	1
虫垂炎	10	急性薬物中毒	2	精巣上体炎	1
精巣捻転	9	頸部リンパ節炎	2	切創	1
頭部打撲	9	口腔内外傷・裂傷	2	鼠径ヘルニア	1
尿路感染症	9	喉頭炎	2	糖尿病	1
アナフィラキシー	8	挫創	2	ニューロパチー	1
腸重積	8	上気道炎	2	白血球尿	1
消化管出血	7	中耳炎	2	鼻出血	1
脱水症	7	手足口病	2	被虐待児症候群	1
インフルエンザ	5	敗血症	2	左肘関節周囲の腫脹	1
肘内障	5	蜂窩織炎	2	不機嫌	1
裂傷	5	溶連菌感染症	2	便秘症	1
異物誤飲	4	嵌頓包茎	2	包皮陥頓	1
陰嚢痛	4	IgA 血管炎	1	無呼吸発作	1
クループ症候群	4	アセトン血症嘔吐症	1	胸・背部痛	1
呼吸不全	4	イレウス	1	めまい	1
頭部外傷	4	陰茎嵌頓	1	後頭部リンパ節腫大	1
熱傷	4	陰嚢の腫脹	1	切創	1
鼻腔異物	4	化膿性顎下腺炎	1	扼創	1
歩行困難	4	感冒	1	合計	432

図表 2-15-7 小児科の転搬送における二次診断名（令和元年度）

（単位：人）

疾病名	患者数	疾病名	患者数	疾病名	患者数
胃腸炎	38	手足口病	3	環軸関節回施位固定	1
発熱	30	脳震盪	3	亀頭包皮炎	1
肺炎	28	刺創・切創	3	急性陰のう症	1
気管支喘息	27	打撲	3	ケトン血性嘔吐症	1
ウイルス感染症	18	裂傷	3	肥厚性幽門狭窄症	1
てんかん・けいれん	18	意識障害	2	耳下腺炎	1
川崎病	15	胃食道逆流症	2	水痘	1
気管支炎	15	一酸化炭素中毒	2	髄膜炎	1
インフルエンザ	13	下肢痛	2	精神疾患	1
上気道炎	11	嵌頓包茎	2	精巣静脈瘤	1
尿路感染症	11	急性糸球体腎炎	2	鼠径ヘルニア	1
頭部打撲	11	急性薬物中毒	2	脱臼	1
アナフィラキシー	9	呼吸不全	2	脱水症	1
虫垂炎	9	蕁麻疹	2	多発骨髄炎	1
腸重積	8	頭痛	2	胆のう・胆管炎	1
便秘症	8	体重増加不良	2	糖尿病	1
挫創	8	蜂窩織炎	2	脳血管障害	1
細気管支炎	7	包皮陥頓	2	白血病	1
嘔気・嘔吐	6	めまい	2	鼻出血	1
骨折	6	腸間膜リンパ節炎	2	百日咳	1
精巣捻転	6	口腔内外傷	2	不機嫌	1
肘内障	6	顎下部膿瘍	1	無呼吸発作	1
クループ症候群	5	アセトン血症嘔吐症	1	溶連菌感染症	1
消化管出血	5	異常所見なし	1	溶連菌菌血症	1
精巣上体炎	5	イレウス	1	右下肢深部静脈血栓症	1
咽頭炎	4	咽頭結膜熱	1	被虐待児症候群	1
鼻腔異物	4	陰嚢水腫	1	扼創	1
ボタン電池誤飲	4	運動誘発性ミエロパチー	1	胸・背部痛	1
異物誤飲	4	顔面擦過傷	1	両耳内異物	1
熱傷	4	過換気症候群	1		
I g a 血管炎	3	化膿性リンパ節炎	1	合計	432

国際疾病分類（ICD）別の転搬送患者数は、内科では「11 消化器系の疾患」による転搬送が多くなっているのに対し、小児科では「10 呼吸器系の疾患」が多かった。

また、「15 妊娠、分娩及び産じょく」と「16 周産期に発生した病態」については、転搬送の件数自体は少ないものの、転搬送率が高く、これらの患者は夜急診での対応が困難である。

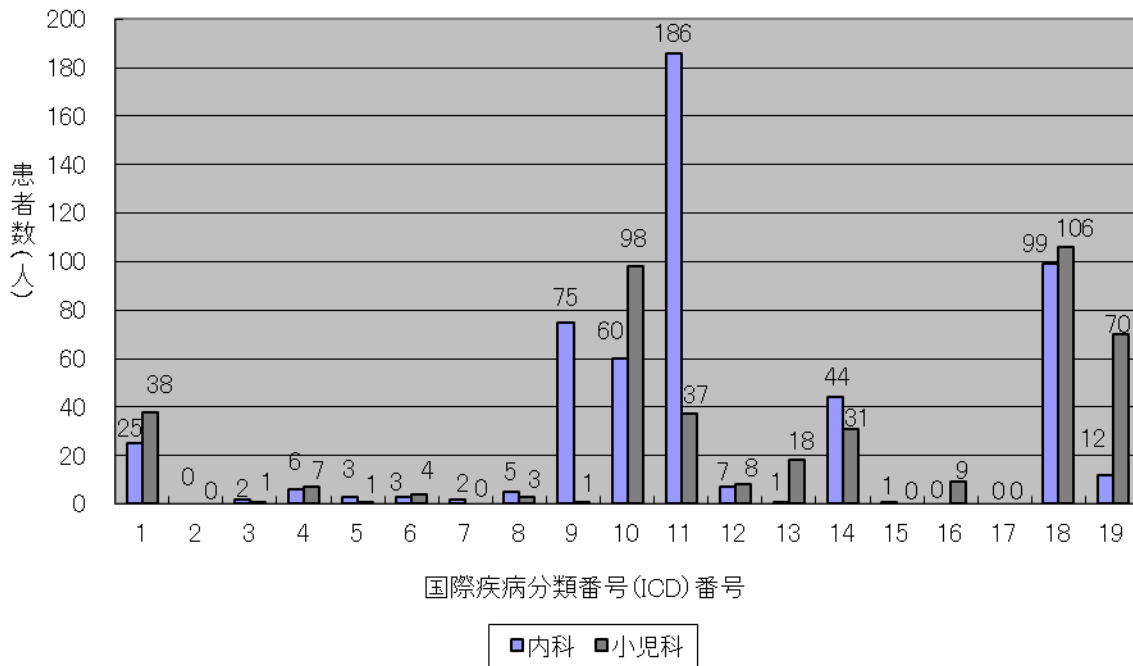
図表 2-15-8 国際疾病分類（ICD）別に見た転搬送患者状況（令和元年度）

（単位：人）

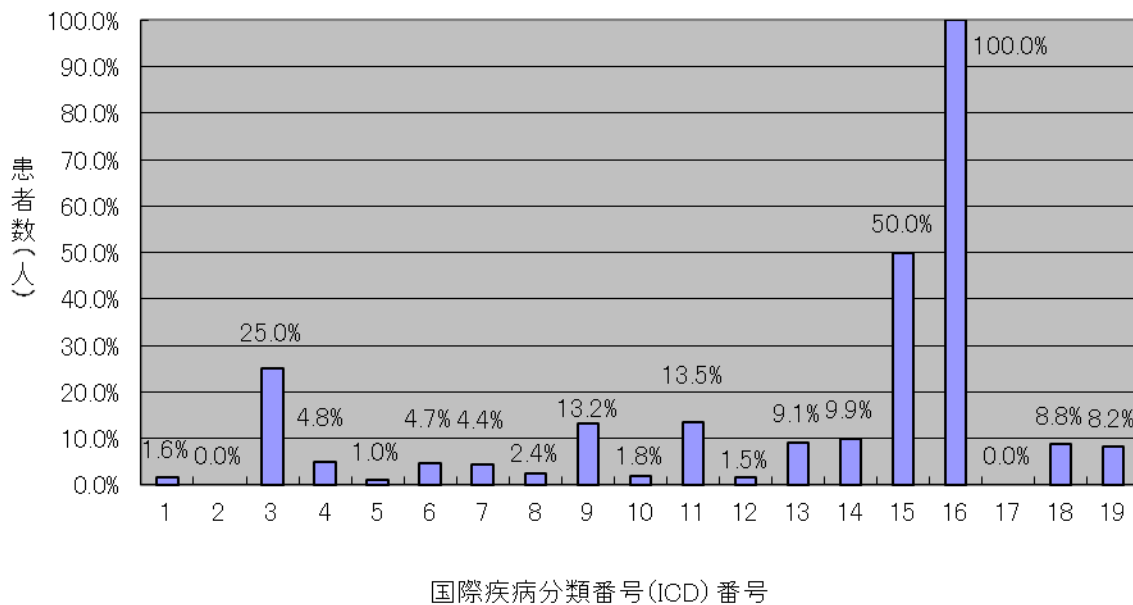
		内 科	小児科	合 計	転搬送率 (%) ※
1	感染症及び寄生虫症	25	38	63	1.6
2	新生物	0	0	0	0
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2	1	3	25.0
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	6	7	13	4.8
5	精神及び行動の障害	3	1	4	1.0
6	神経系の疾患	3	4	7	4.7
7	眼及び付属器の疾患	2	0	2	4.4
8	耳及び乳用突起の疾患	5	3	8	2.4
9	循環器系の疾患	75	1	76	13.2
10	呼吸器系の疾患	60	98	158	1.8
11	消化器系の疾患	186	37	223	13.5
12	皮膚及び皮下組織の疾患	7	8	15	1.5
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	1	18	19	9.1
14	尿路性器系の疾患	44	31	75	9.9
15	妊娠、分娩及び産じょく	1	0	1	50.0
16	周産期に発生した病態	0	9	9	100.0
17	先天奇形、変形及び染色体異常	0	0	0	0.0
18	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	99	106	205	8.8
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	12	70	82	8.2
総 数		531	432	963	4.5

※ 転搬送率とは、国際疾病分類（ICD）による、来院患者数全体に占める転搬送患者の割合
 $(ICD \text{ 別転搬送患者数} \div ICD \text{ 別来院患者数} \times 100)$

図表2-15-9 国際疾病分類(ICD) 別に見た転搬送患者数(令和元年度)



図表2-15-10 国際疾病分類(ICD) 別に見た転搬送率(令和元年度)



図表 2-15-11 転搬送患者の加療・入院状況（令和元年度）

（単位：人）

	内 科		小児科		総 数	
	患者数	割合 (%)	患者数	割合 (%)	患者数	割合 (%)
外来治療のみ	297	55.9	219	50.7	516	53.6
重症につき治療転送	11	2.1	19	4.4	30	3.1
入院（翌日退院）	30	5.7	21	4.9	51	5.3
〃（2日～7日）	127	23.9	142	32.9	269	27.9
〃（8日～15日）	50	9.4	24	5.6	74	7.7
〃（16日～30日）	9	1.7	6	1.4	15	1.6
〃（31日～99日）	7	1.3	1	0.1	8	0.8
〃（100日以上）	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合 計	531	100.0	432	100.0	963	100.0

※ 治療転送とは、転搬送先の医療施設でも対応が困難であったため、さらに別の医療施設に転送したもの

図表 2-15-12 転搬送患者の月別入院日数状況（令和元年度）

（単位：人）

		内 科			小児科			総 数		
		患者数	延べ日数	平均入院日数	患者数	延べ日数	平均入院日数	患者数	延べ日数	平均入院日数
令和元年	4月	33	194	5.9	32	60	1.9	65	254	3.9
	5月	65	175	2.7	42	96	2.3	107	271	2.5
	6月	51	93	1.8	40	104	2.6	91	197	2.2
	7月	45	144	3.2	36	52	1.4	81	196	2.4
	8月	35	56	1.6	41	101	2.5	76	157	2.1
	9月	42	115	2.7	41	137	3.3	83	252	3.0
	10月	42	114	2.7	32	61	1.9	74	175	2.4
	11月	49	185	3.8	36	89	2.5	85	274	3.2
令和2年	12月	56	260	4.6	42	100	2.4	98	360	3.7
	1月	37	131	3.5	37	64	1.7	74	195	2.6
	2月	36	69	1.9	31	42	1.4	67	111	1.7
	3月	40	61	1.5	22	50	2.3	62	111	1.8
合 計		531	1,597	3.0	432	956	2.2	963	2,553	2.7

図表 2-15-13 転搬送患者の入院後の死亡例（令和元年度）

性別	年齢	疾病名	入院	性別	年齢	疾病名	入院
女	93	心原性脳梗塞症、心房細動	5日	女	90	肺炎・うっ血性心不全・慢性腎不全・腹部腫瘍	53日

図表 2-15-14 内科の転搬送先医療施設からの治療転送例（令和元年度）

性別	年齢	疾病名	3次転送先
女	68	胃炎	千葉県救急医療センター
男	87	尿路感染症	みつわ台総合病院
男	34	急性虫垂炎	最成病院
女	58	被殻出血・高血圧症・2型糖尿病・脂質異常症	千葉県救急医療センター
男	34	胸腔内出血、緊急性気胸	斎藤労災病院
男	57	急性膵炎	柏戸病院
男	41	糖尿病性ケトアシドーシス	山王病院
男	34	胆のう炎	井上記念病院
男	44	フルニエ壊疽疑い	千葉市立青葉病院
女	73	間接性肺炎（急性呼吸不全）両側 PVT	東京女子医科大学八千代医療センター

図表 2-15-15 小児科の転搬送先医療施設からの治療転送例（令和元年度）

性別	年齢	疾病名	3次転送先
男	2	川崎病	千葉大学医学部附属病院
女	2	右上腕骨遠位端骨折の疑い	最成病院
女	3	閉塞性イレウス・慢性便秘症	千葉県こども病院
男	13	盲腸炎または回盲性リンパ節炎	千葉大学医学部附属病院
男	0	腸重積症	千葉大学医学部附属病院
男	7	糖尿病性ケトアシドーシス	千葉県こども病院
男	0	肥厚性幽門狭窄症	千葉大学医学部附属病院
男	4	左鎖骨骨折	習志野第一病院